

質の高いサービスと独自のケアで

「旗振り役となり地域活動にも注力」

浦安市内で2つの介護付き有料老人ホーム「富士見サンヴァーロ」と「新浦安フォーラム」、3つの「在宅介護サービス」を運営する(株)舞浜倶楽部。「人格の尊厳」を基本理念に掲げ、入居者のQOL（クオリティ・オブ・ライフ）「生活の質」「人生の質」を大切にしたいケアに尽力している。

同社の介護への取り組みや地域とのかかわりについて、統括施設長の北島宇さんに話を聞いた。



24時間看護・おいしい食事・緩和ケア・手厚い人員

「誰もが最期まで自分らしく」というQOLを守るため、(株)舞浜倶楽部では質の高いサービスとケアにとことんこだわっている。

入居者が安心して過ごせるよう、施設内に看護職員が24時間常駐。医療機関とともに、入居者の健康管理を行う。食事は、和食を中心とした温かな手作り。匂いや行事に合わせた献立も用意し、日々の暮らしに楽しさと彩りを添える。

さまざまな緩和ケア手法も、同社の大きな特長だ。タッチケアの「タクティール®ケア」や音楽を使った「ブネ・メソッド」などで、入居者の身体と心に癒しをもたらす。

また「市内で一番、県内でもトップクラス」と北島さんが話すのが、手厚い人員体制だ。国で定められた基準の倍以上の人数の職員が、きめ細かなケアにあたっている。

認知症に対する意識が高い職員たち

職員の年齢はパートも含めると10代〜80代と、幅広い。

「若い職員がいきいきと働いていることを褒めていただく一方で、ご入居者やご家族と比較的世代に近い職員もいることで安心感があるというお声もいただきます」

北島さんはその職員たちを「会社の宝物です」と言う。「ケアに対する理解や意識が高い職員が多く、お互いの価値観が共有しやすいので、結果、質の高いケアに繋がっていると思います」

施設で働いている職員の中には、併設する在宅介護サービスで勤務をしていた経験がある職員もいる。そのため、在宅介護サービスから施設入居を検討する際に「あの職員さんがいるから」と、同社を選ぶ入居者も少なくない。

地域活動の旗振り役に

「認知症の知識や情報をさまざまな形で地域に伝えたい」という同社の思いは、その取り組みにも表われている。

3年ぶりに先月開催された「第4回RUN伴うらやす」には、初回から参加。認知症への理解を広く呼び掛けている。

また、舞浜倶楽部が開催している「認知症介護者交流会」は今年度より浦安市から委託を受けて実施。

「交流会にいらつしやる方の中には、どこに相談すればいいのか分からず、介護保険サービスを使っていないケースもある。一人ひとりを支えていくためには、行政や企業など地域全体で取り組むことが大切です。浦安がより暮らしやすい街になるよう、地域活動の旗振り役を担う存在でありたいと思います」

魅力ある企業になってファンを増やしたい

「た例えばICTやDXの分野。デジタル技術を取り入れることで業務効率や生産性が上がれば新たな時間が生まれる可能性が高い。そしてその時間をご入居者や職員のために有効活用することが出来ると考えています。これはご入居者にとっても私も職員にとっても双方のメリットになると思います。さまざまなことにチャレンジし、魅力ある企業・施設になり、『ファン』を増やしていきたい。そのために職員一同、できることを模索しながらこれからも尽力していきます」

私たちと一緒に はたらきませんか？ 介護職正社員・看護パート社員募集

未経験・経験者問いません。世界基準の緩和ケアを学べます。研修制度・昇給制度・豊富な福利厚生であなたのチャレンジをバックアップ。まずは見学からお気軽にどうぞ。詳しい内容はお問い合わせ(TEL.047-304-2400)またはホームページをご覧ください。



舞浜倶楽部 新浦安フォーラム
〒279-0023 浦安市高洲 1-2-1
TEL047-304-2400
<https://www.maihamaclub.co.jp>



舞浜倶楽部 富士見サンヴァーロ
〒279-0043 浦安市富士見 3-16-46
TEL047-350-7520
<https://www.maihamaclub.co.jp>



【入居募集中】見学・ご相談をご希望の方は、お電話またはメールでお問い合わせください。✉mchome@maihamclub.co.jp